

ハミングク



No.68

2014.7.15

基本理念

本院は診療・教育・研究を遂行する大学病院としての使命を有し、また患者さんの人権を尊重した先進的医療を行うとともに、次代を担う国際的な医療人を育成する。



『信州大学医学部附属病院 外来診療棟内観』

主な記事

- 総合診療科のご紹介
第2回～どんな患者さんが受診するの?～ 2
- ひまわりサロンを開室しました 6
- 患者さんと医療者双方に寄り添える
医療メディエーターを目指して 3
- 信州がんセンター公開講座を開催しました 6
- 臍島移植 ～1型糖尿病に対する新しい治療～ 4
- 西5階 病棟の紹介 7
- 新任看護部長として 5
- ご意見函からの声 7
- 電話番号表・編集後記 8

総合診療科のご紹介

第2回～どんな患者さんが受診するの？～

総合診療科長 関口 健二

今回は、新設された総合診療科のビジョンや今後の活動方針についてお話しさせていただきました。今回は、大学病院の総合診療科外来では実際にどのような患者さんを対象に診療をおこなっているのか、受診後の流れはどのようになっているのか、についてご紹介いたします。



どんな患者さんが受診するの？

- 原因の分からない健康問題で困っている患者さん（まずはかかりつけの医療機関でご相談ください）

受診までの手順は？

- 正確な診断と円滑な診療のため、受診の際にはかかりつけなどの情報提供書（紹介状）をご用意いただき、受診予約をおこなってください。
- 信大病院に通院中の場合は、まず担当の先生にご相談いただき、必要があれば紹介していただきたいと思います。
- 医療機関の方に予約を取っていただく場合には、予約した受診日の2日前までに診療情報提供書をお送りいただきたいと思います。

外来診療スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	総合診療科ではチーム診療制をとらせていただいております。				
午後	—	—	—	—	—

※診療開始時間は9時で午前中でのみの診療です。

※休診日：土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日、年末年始（12月29日～1月3日）

- 患者さんご自身が直接予約する場合にも、予約した受診日の2日前までにかかりつけ医からの診療情報提供書をお送りください。

電話番号 0263-37-3500（外来予約センター）

FAX番号 0263-37-3371

予約受付 平日 9:00～16:30

- ご来院当日の受診申し込みから帰宅までの詳細な流れ等につきましては、病院内設置の冊子「外来診療案内」あるいは信大病院のホームページでトップページの上端「患者さんへ」から入っていただくと、「外来の患者さんへ」に記載してございます。

初回受診以降はどうなるの？

- 診断がつくか、治療方針が定まるまでは当科に外来通院していただきます。継続的な治療が必要な場合は、紹介元の医療機関での治療をおすすめするか、地域診療所の医療機関で新たにかかりつけ医をお持ちいただくようにしております。

入院が必要な場合は？

- 当科では入院診療を行っておりません。入院機能を持つ近隣病院の総合診療科、または高度専門医療が必要な場合は、速やかに当院当該科へ紹介いたします。

患者さんと医療者双方に寄り添える 医療メディエーターを目指して

医療安全相談室 医療メディエーター 山田 なおみ

「医師や看護師が忙しそうに聞きたいことが聞けない」「何か言うと嫌われるんじゃないかな・・・」「クレーマーと思われるのでは？」と感じたことはありませんか？

患者さんやご家族の心の中に、「診療に携わる医療者に伝えたくても伝えられなかったこと」が蓄積していても、その苦しい想いに医療者が気づけない場合があります。

診療の結果が患者さんの期待したものと大きく異なっていた場合は、特に深刻です。

このように意思の疎通がうまくいかなくなると診療に支障をきたし、信頼関係が崩れてしまうことがあります。これは患者さんと医療者にとって、たいへん悲しいことです。

医療メディエーター（医療対話仲介者）は、患者さんと医療者双方の語りを、いずれにも偏らない位置で共感的に受け止め対話を促進するよう架け橋の役割を担います。

患者さん、ご家族が医療者に伝えにくいこと、あるいは医療者が「患者さんやご家族に言いたくても言えないことがありそうだ」と感じたとき、医療メディエーターがお話をうかがい、双方が直接向き合って対話できるよう支援させていただきます。

病棟、外来どこにでもうかがいます。お気軽にお声をかけてください。

少しでもみなさんの気持ちに寄り添えるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

医療安全相談室 電話：0263-37-2754

中立の立場で架け橋の役割を担います



医療は危険も伴い不完全
もとどおりにならないこともある



合併症です

とにかく忙しい

不安で心配

医療は安全で万能
もとどおりになる



医療ミスでは？

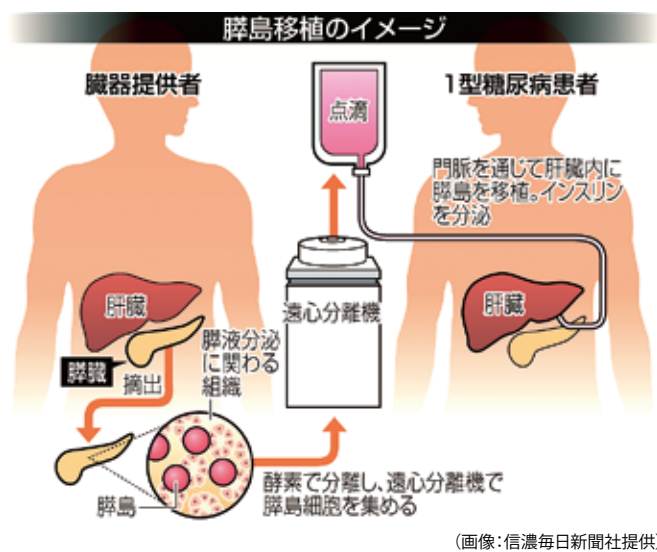
参考文献 医療メディエーション 和田仁孝・中西淑美著

膵島移植 ～1型糖尿病に対する新しい治療～

移植外科 三田 篤義／糖尿病・内分泌代謝内科 佐藤 吉彦

膵島移植とは？

インスリンのみでは十分に血糖をコントロールすることができない、重症1型糖尿病の患者さんに行う治療です。臓器提供者（ドナー）からご提供いただいた膵臓から、インスリン分泌細胞を含む膵島を分離し、患者さんの肝臓の門脈と呼ばれる血管内に点滴で移植します。



1. 1型糖尿病とは？

1型糖尿病とは、インスリン分泌細胞が何らかの原因で壊されて発症する糖尿病です。日本人の糖尿病は2型糖尿病が多く、1型糖尿病は全体の5～10%程度です。1型糖尿病は小児期から思春期にウイルス感染などを契機に発症することが多いですが、成人にも発症します。

多くの方はインスリンが非常に欠乏するため、ブドウ糖を栄養素としてうまく利用できず、著しい高血糖になります。したがって1日4～5回のインスリン注射を行って血糖を良い状態に保つ必要がありますが、インスリン治療を行っても血糖コントロールが不安定な患者さんは少なくありません。

2. 膵島（ランゲルハンス島）とは？

膵臓は、胃の背中側にある臓器ですが、食物の消化吸収に必要な消化酵素を作る外分泌細胞と、血糖調節を行うホルモンを作る内分泌細胞で構成されています。外分泌細胞は膵臓の99%を占めているのに対し、

内分泌細胞は直径が約0.1～0.3 mmと小さく、球状の塊となって膵外分泌細胞の海の中に島のように点々と散らばっています。このような様子から“膵臓のなかの島”という意味で「膵島」の名前がついています。生物の教科書に登場する「ランゲルハンス島」と同じものです。膵島には様々な種類の細胞が含まれますが、その中にβ細胞という、血糖が上昇した場合に血糖を低下させるホルモン、インスリンを分泌する細胞があります。

β細胞が非常に少なくなって起こる重度の1型糖尿病患者さんに対し、膵島を移植することで糖尿病の改善を目指す治療が「膵島移植」です。

3. 膵島移植の方法

臓器提供者（ドナー）から頂いた膵臓より、膵島だけを特殊な方法で取り出します。十分な数の膵島が採取できたら、溶液と共に輸液バックに入れ、肝臓内の血管である門脈に細いチューブを挿入して、点滴注入します（左図）。注入終了後すぐに、チューブは抜いてしまいます。移植後に免疫抑制剤の投与が必要なのは他の移植治療と同様です。

信州大学医学部附属病院は、2013年9月に日本膵・膵島移植研究会の定める膵島分離・凍結・移植施設認定を取得し、甲信越地方で膵島移植を行うことができる唯一の施設となりました。2014年4月より膵島移植を希望される1型糖尿病患者さんの登録を開始しています。

膵島移植についての相談をご希望の方は、クリニカルコーディネーターまで御連絡下さい。来院日等を調整いたします。

ご連絡先 移植医療センター

TEL.0263-37-2930／FAX.0263-37-3351

新任看護部長として

看護部長 伊藤 寿満子



平成26年4月1日付で看護部長に就任いたしました伊藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

信州大学医学部附属病院看護部の理念は病院の理念に準じておりますが、基本方針は「一人一人が医療人としての倫理観を持ち、専門職業人としての責任と役割を自覚し、信頼される質の高い看護（医療）を提供する。その上で地域・社会の人々から信頼される病院づくりに貢献し、信頼される人材を育成する」です。

医療や看護を取り巻く環境は、従来にもまして早いスピードでかつ多様に変化しています。大学病院にはより一層の高度な急性期医療や先進医療の開発・提供が求められております。看護部としても高度急性期医療や先進医療を提供するチームの一員として医療に貢献し、高度な医療を受ける患者さんやご家族の支援をしていきたいと思っております。そのためにも基本方針にあるキーワード“信頼”を大切にしたいと考えております。

今年は看護部職員数が750名となり、全職員の40%を超える大きな組織となりました。看護師は24時間365日、継続的な観察を通して異常の早期発見に努め、容態の急変に対しては迅速効果的な対応に努めています。また褥瘡や転倒転落といった患者さんのリスク評価を行い、日々安全な看護の提供を心がけています。更に在院日数が短縮された現在は安心して自宅に戻れるように早期より退院に向けて調整も行っています。一方外来では、フットケアやリンパ浮腫ケアといった療養生活支援も行うなど、看護師の役割は拡大してきております。750名の看護職員の中には専門的な知識

と技術を持つ、専門看護師や認定看護師が在籍し、患者さんに質の高い看護を提供するとともに、臨床現場の看護師たちの教育等に携わっております。

今後も社会や患者さんの期待に応えることができる看護者の育成と質の高い看護の追求を推進していきたいと考えております。

看護専門看護師	がん看護	1名
認定看護師	集中ケア	3名
	皮膚排泄ケア看護	3名
	感染管理	2名
	糖尿病看護	2名
	がん性疼痛看護	2名
	がん化学療法看護	2名
	慢性呼吸器疾患看護	2名
	摂食嚥下障害看護	1名
	緩和ケア	1名
	救急看護	1名
	手術看護	1名
不妊看護	1名	
新生児集中ケア	1名	
慢性心不全看護	1名	
認知症看護	1名	
認定看護管理者		4名

その他、副病院長（看護担当）として環境整備・患者サービス小委員会の委員長をさせていただいております。院内にはご意見箱を多数設置してございます。どんな時でも患者さんのご意見を伺いたいという気持ちと「即対応」を心がけております。医療を受ける患者さんの立場から意見を出すのは勇気のいる場合もあるかと思いますが、貴重なご意見をいただき“信頼”される病院作りに努めていきたいと思っております。

今後ともご支援とご指導の程よろしくお願い申し上げます。



ひまわりサロンを開室しました



平成22年から毎月第4火曜日に、がん患者さん、ご家族のための患者サロンひまわりを開催してきましたが、「もっと患者さん同士で話したい」、「サロンの日時を増やしてほしい」という参加者からの要望にお応

えするため、この4月より常設のひまわりサロンが設置され、右記のように開室しています。

がん患者さん・ご家族の交流や情報交換、がん



に関する情報収集や学習、また通院治療の待ち時間に、ぜひご利用ください。

場 所：通院治療室入口（地図参照）

開室時間：毎週火～木曜日 午前9時～12時

〈ご利用内容〉

- がん患者さん・ご家族同士の交流、情報交換
- がんに関する冊子や本の閲覧、インターネット検索
- がん相談、こころの相談（予約制。看護師、臨床心理士などが対応。）

*語り合いサロンは、ひまわりサロンで行っています（毎月第4火曜日13：30～）。

*ピアサポーター（体験者）が在室する時間があります。お気軽にお越しください。

*ミニ勉強会（月1回）を企画予定です。随時病院ホームページなどでお知らせします。

問合せ先 がん相談支援センター（医療福祉支援センター内）

仁科・高橋 ☎37-3045



信州がんセンター公開講座を開催しました



本院は長野県で唯一「都道府県がん診療連携拠点病院」の指定を受けており、院内に信州がんセンターを設置して、がん診療に関する様々な活動を行っています。

その一環として、5月29日に公開講座を開催しました。当日は約110名の参加がありました。

今回は、本院の鈴木 彰先生（消化器外科）が「胃がんの診断と治療～胃がん診療の現状について～」をテーマに、胃がんの原因や症状に始まり、診断から治療までの流れを分かりやすく講演してくださいました。

特に手術後の生活（留意点）については、時間を取って説明していただき、参加者の皆様はメモを取って熱心に聴講していました。がんの予防と早期発見はもちろん大切ですが、万が一がんになり手術を受けた後の生き方について、高い関心が寄せられていること



がうかがえました。

講演終了後の質疑応答では、数々の質問が鈴木先生に寄せられました。例えば「コーヒーは胃に良くないですか？」との質問に対しては、「コーヒーに含まれるカフェインは確かに胃壁を刺激しますが、最も胃に負担をかけるのは塩分であり、漬物もその例外ではありません」と具体的な事例も添えた回答をいただきました。

閉会の挨拶では盛大な拍手が贈られ、公開講座は盛況のうちに幕を閉じました。

西5階 病棟の紹介

西5階病棟は消化器外科、移植外科、小児外科、消化器内科の患者さんが主に入院している病棟です。肝臓移植は24年の歴史があり全国的にも大変有名です。加えて、食道、胃、腸、膵臓、肝臓など消化器の手術や内視鏡検査、内視鏡的腫瘍切除など消化器疾患の専門的なケアを提供しています。近頃は、腹腔鏡下での手術が増え、入院期間が短くなっている傾向にあります。また、高齢者や余病をもった患者さんの手術が多くありますが、手術後の早期離床が重要であるといわれており、10時間を超える手術であっても翌々日にはベットサイドで立ってもらえるように、患者さんの状態に合わせて看護しています。

治療上、食事のとれない患者さんも多く、食べることでできない辛さを少しでも理解できるように日々患者さんに寄り添える看護を目指しています。医師をはじめとした他職種とも連携をはかり栄養面やリハビリ



など多方面から患者さんを支援しています。

病棟スタッフは若いスタッフが多く、元気の良いのが特徴です。入院時から自宅での状況をお伺いし患者さんやご家族の希望に添いながら社会復帰や在宅療養に向けた支援ができるように日々努力しています。



ご意見函からの声

Q ホームページを見ると、紹介状がない場合はお金がかかる、と書いてありました。特に予約が必要とも書いてなかったのでも来てみたら、紹介状が必要な上、予約を取って来て下さい、と診察を断られました。信大のホームページはかかりたい人にとって、何にも分かりません。もっと、最新の情報を分かりやすく載せてください。

A 貴重なご意見をいただきありがとうございます。ホームページ上にも以下の通り記載させていただいておりましたが、分かりづらい場所に掲載されておりました。今後はできるだけ、患者さんに分かりやすいよう工夫させていただきます。

『特殊歯科・口腔外科、眼科、耳鼻いんこう科、産科婦人科、皮膚科、総合診療科の初診は完全予約制となります。これらの診療科を初診する場合は、かかりつけ医に「診療情報提供書(紹介状)」を書いていただき、かかりつけ医または患者さんから直接、外来予約センター(0263-37-3500)へご予約ください。ご不明な点は外来予約センター(0263-37-3500)までお問い合わせください。』

電話番号表 (市外局番 0263) 代表番号 : 35-4600

【診療科外来】

南 1 階	小児科	37-2776	南 3 階	眼科	37-2789	リハビリテーション部(理学療法)	37-2836				
	遺伝子診療部			耳鼻いんこう科	37-2791						
	先端心臓血管病センター			産科婦人科	37-2793	リハビリテーション部(作業療法)	37-3399				
	循環器内科			皮膚科	37-2778	通院治療室	37-2552				
	整形外科			消化器外科		医療福祉支援センター	37-3370				
脳神経外科	移植外科	37-2781	高度救命救急センター	37-2222							
総合診療科	小児外科	37-2783			胸痛センター						
南 2 階	呼吸器・感染症内科	37-2768	北 2 階	呼吸器外科	37-2831	内視鏡センター	37-2803				
	消化器内科			乳腺・内分泌外科				37-2783			
	血液内科			麻酔科蘇生科	37-2846			臨床試験センター	37-3389		
	腎臓内科			形成外科						37-2831	
	脳神経内科			37-2770	北 3 階			精神科	37-2846	移植医療センター	37-2930
	リウマチ・膠原病内科			37-2773				子どものこころ診療部	37-2787		
	糖尿病・内分泌代謝内科			37-2773				泌尿器科	37-3381		
内科総合外来	特殊歯科・口腔外科	37-2796									
	放射線科										

【医事課】

収 入 係	37-2763
入 院 係	37-2759
外 来 係	37-2757

【医療支援課】

患者サービス係 (診断書・労災)	37-2762
---------------------	---------

【病棟スタッフステーション】

西 病 棟		階	東 病 棟	
【先端心臓血管病センター】 循環器内科	37-2777	8階	糖尿病・内分泌代謝内科 乳腺・内分泌外科	37-2769
脳神経内科、脳神経外科 リウマチ・膠原病内科	37-2774	7階	消化器内科、血液内科 腎臓内科	37-2771
皮 膚 科	37-2788	6階	【呼吸器センター】 呼吸器・感染症内科 呼吸器外科	37-2784
消化器外科、消化器内科 移植外科、小児外科	37-2782	5階	眼科、脳神経外科 麻酔科蘇生科	37-2790
産科婦人科 新生児科(NICU・GCU)	37-2772	4階	小 児 科 婦 人 科	37-2794
精 神 科 子どものこころ診療部	37-2775	3階	整 形 外 科	37-2786
放射線科、消化器外科、移植外科 小児外科、特殊歯科・口腔外科、RI 信州がんセンター、救急科	37-2780	2階	耳 鼻 い ん こ う 科 形 成 外 科	37-2792

くすりの相談室	37-3013	地域医療連携支援室	37-3370
総合医療相談室	37-3370	難病相談支援センター	34-6587
が ん 相 談	37-3045	難聴児支援センター	34-6588
セカンドオピニオン外来	37-3111	肝疾患診療相談センター	37-2922
先端細胞治療センター (分子細胞診療室)	37-3220		



☆相談窓口☆

受付時間：月～金（祝除く）
9時～16時

編集後記

日本中が熱狂したサッカーワールドカップも終わり、いよいよ本格的に暑い夏のシーズンがやってきました。皆さん、今年も熱中症には十分気をつけましょう！

今回のハミングでは診療科やスタッフについて、新しい話題が掲載されています。今春より新しい環境となり、やっと最近、落ち着いてきたという人も多いと思います。気の緩みがちなこの時期こそ、また気分を一新してこの夏を乗り越えていきましょう。

(薬剤部 小澤 秀介)

あなたの自慢の写真で「ハミング」の表紙を飾りませんか？ 写真を募集しております！

お名前・写真のタイトルをご記入の上、
ctc@shinshu-u.ac.jp へお送りください。
写真は 2MB 以上 5MB 未満の jpg データ

【お問合せ・応募宛先】

信州大学医学部附属病院 総務課 卒後臨床研修係
TEL : 0263-37-3050

※応募はメールのみ受付